

中学生の職場体験学習を受け入れました

令和4年12月1日

仙台市若林障害者福祉センター

去る令和4年11月10日（木）、11日（金）の2日間、仙台市立南小泉中学校2年生の3名を職場体験学習で受け入れました。

3名の皆さんは、職場体験学習の候補が様々ある中で、「福祉」の分野を選択し、当センターに来てくださったそうです。選択した理由を伺ったところ、「日頃なかなか関わる機会がない分野だったからこそ、知りたくて選びました。」と話してくれました。

2日間ともに、10時から15時まで、自立訓練事業に携わっていただきました。当センターの概要説明や障害理解に関する研修を行ったほか、朝の会や帰りの会の進行、グループ体操やスポーツレクリエーションの活動を通して、利用者様とコミュニケーションをとっていただきました。

最初は緊張の面持ちだった3名も、利用者様との関りを経て、笑顔が見られるようになりました。

この職場体験学習は、「仙台市障害を理由とする差別をなく障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」にかかる取り組みとして実施しています。今回も訪れた中学生に対し、障害理解および合理的配慮促進を啓発するきっかけづくりに取り組むことができました。

今後も様々な事業を通して、地域の皆様に障害理解および合理的配慮の啓発を進められるよう努めてまいります。